

武道・スポーツ科学研究所年報 第11号・平成17年度・目次

I. 平成17年度(2005.4~2006.3)のプロジェクト研究

A 特定研究プロジェクト

1. 研究所研究分野プロジェクト	1
1) 東アジアにおける武術の交流と展開 (1)334	
●魚住孝至、吉田頼男、大久保輝男、阿部年晴、高橋克也、 田中 守、大石純子、仙土克博、朴 周鳳	
東アジアにおける武術の交流と展開 覚書	
剣術に見る「武道」の思想	
新陰流の形成と定着—日本の武道の成立過程を探る	
新陰流の真髄「轉」	
2) 国際武道大学生の栄養摂取の現状と食生活改善に関する研究 1	
●成澤三雄、湊久美子、小林啓三、刈谷文彦、山本利春、樗澤隆治、 石井兼輔、宮腰浩一、越野忠則、矢崎利加、岩井美樹、湯田一弘、 百武憲一、徳永文利	
3) 伝統的健康論の現代的見直し—科学的・文化的観点から—(第3報) 11	
●田邊信太郎、石塚正一、林 伯原、山本正嘉、大澤拓也	
2. 教育(ソフト)の充実に関するプロジェクト 35	
1) 武道指導場面と指導マニュアル 35	
●丸橋利夫、石井兼輔、松尾牧則、蒔田 実、井島 章、柏崎克彦、 宮腰浩一、岩切公治、越野忠則、矢崎利加	
柔道の現状把握	
剣道の現状把握	
弓道の現状把握	
2) 体育指導場面と指導マニュアル(Ⅲ) 55	
—生涯スポーツとしての競技スポーツの可能性—	
●中島一郎、前河洋一、徳永文利、後藤 豊、安ヶ平浩	
生涯スポーツとしてのレクリエーション	
生涯スポーツとしてのマラソン	
生涯スポーツとしてのバレーボール	
生涯スポーツとしての体操競技	
生涯スポーツとしてのラグビー	
3) 外国語による武道・スポーツ指導マニュアル作成に関する研究 83	
●佐々木克美、田中 守、樗澤隆治、西村英一郎、多田寿康	
4) 海外における障害者武道普及の可能性(第3報) 91	
●松井完太郎、蒔田 実、柏崎克彦、高見令英、木村寿一、 阿部哲史、井下佳織	
5) 地域における健康・体力づくりの企画と実践・成果 101	
●谷口有子、小西由里子、井上哲朗、酒井洋紀、山本利春、 清水宜雄、安ヶ平浩、成澤三雄、篠田基行、北湯田純、見波 静、 蟹沢 泉、若山英央、増尾喜久、永島哲、鶴岡孝一、萩野アサ子、 渡辺聡子、篠宮寛敬、鈴木暁夫、関智恵子、魚地光夫、西村理恵子	

6) スポーツ現場におけるスポーツ医科学サポート活動を通じた トレーナー教育の実践報告(3)……………	121
～アスレティックリハビリテーションを通じた教育的アプローチ～ ●山本利春、笠原政志、酒井洋紀、小西由里子、岩垣光洋、清水宜雄	
3. スポーツ QOL プロジェクト……………	129
1) ライフステージとスポーツの関わりについて……………	129
～QOLの向上を視点として～(第3報) ●佐藤記道、高見令英、小林啓三、松井完太郎、木村寿一	
2) スポーツ振興とNPO法人組織に関する研究(第3報)……………	135
●土居陽治郎、鈴木和弘、松井完太郎、徳永文利、湯田一弘、 中西 純、清野義弘	
4. 学術交流……………	147
1) 武道・スポーツ科学の観点からみた国際比較……………	147
=日韓両国の傷害発生状況の違いを健康観などの違いから検討する= ●小林啓三、山本利春、林 淳吉、小西由里子、李 根一、 曹 宰赫、金 正洙、菅原洋輔、岩垣光洋、笠原政志、太田千尋	
B 一般公募研究プロジェクト	
1) スポーツにおける薬物使用の生体影響について(第三報)……………	165
—動物実験による基礎的研究— ●河野俊彦、高橋正人、立木幸敏	
2) 東アジアにおける武術の発展とその交流……………	171
宋・遼・西夏・金時代における武術の発展変化の実態に関する研究 ●林 伯原、魚住孝至、黒羽友子、周 佩芳	
3) 若年期の自発運動が成熟ラットの筋・骨格系の発育・発達 に及ぼす影響(第3報)……………	181
●刈谷文彦、山内秀樹、小林啓三、成澤三雄、中原凱文	
4) 東アジアにおける女子競技者のジェンダーについての国際比較(第3報)……………	191
●石塚正一、林 伯原、林 相祚、佐藤みどり、高 玉英	
5) 大学ラグビーチームにおけるコンディショニング・アプローチ の効果について……………	199
●宮崎善幸、小西由里子、河谷彰子、磯野 武、安ヶ平浩	
6) 舞踊教育を考える～身体表現の教育的価値(3) 「指導者の“踊り・創り・観る”体験」を通して～……………	209
●佐藤みどり、魚住孝至、宮本乙女、細川江利子、高岸昭代、 古木竜太、浅野 緑	
7) 球技の競技力向上に関する因子分析……………	219
—大学ラグビーチームにおけるストレングストレーニングの事例報告— ●奥山秀雄、宮崎善幸、安ヶ平浩	
8) アジア地域のスポーツ交流による国際協力の可能性(最終報告)……………	227
●木村寿一、松井完太郎、岡田千あき、渡部隼二	
9) スポーツ選手の運動機能評価に関する研究(3)……………	235
●井上哲朗、山本利春、笠原政志、岩垣光洋、前河洋一、 西林和彦、太田千尋、松井健一、大塚俊介、久家暁子	
10) 地域におけるメンタルヘルス向上に関する研究……………	251
●高見令英、小林朋子、熱海敏行、庄司一子	

11) 東アジアの組み討ち系武術の調査研究 (第2報)	261
—韓国相撲「シルム」の調査研究—	
● 柏崎克彦、矢崎利加、越野忠則、橋本敏明、金野 潤	
12) 武士道の研究	(43)292
『諸家評定』の研究 (8) 『諸家評定』をめぐる人々	
● 羽賀久人、魚住孝至、松尾牧則、加藤貞仁	
II. 武道・スポーツ科学研究所を活用しての行事	335
2005年度研究所セミナー	336
1. 第18回 国際武道文化セミナー開催要項	337
2. 第18回 国際武道文化セミナー日程表	338
3. 第18回 国際武道文化セミナー参加者名簿	339
巻末 国際武道大学研究倫理指針 (人に関する研究)	342
国際武道大学研究倫理指針 (動物に関する研究)	344